

米国大学院への留学生、新入生の約 77%が修士号及び修了証取得課程に入学（12 月 17 日）

米大学院協議会（Council of Graduate Schools : CGS）は 12 月 17 日、米国大学院への留学生に関する 2015 年秋学期の出願・入学状況に関する報告書「大学院留学生の出願と入学 ～2015 年秋学期～（International Graduate Applications and Enrollment: Fall 2015）」を発表した。これによると、出願・入学した留学生が取得を目指す学位は、出身国及び専攻分野によって大きく異なり、大学院新入生の約 77%が修士号及び修了証取得課程に入学していることが明らかにされた。また、修士号及び修了証取得課程への新入生の約 72%が中国人及びインド人学生で、特にインド人学生の新入生数増加率は、過去 3 年連続で二桁増となっている。また、それ以外の国では、韓国人学生の 47%と中東・北アフリカ諸国出身学生の 44%が、博士課程に入学していることが明らかにされた。

なお、本報告書は、

<http://cgsnet.org/ckfinder/userfiles/files/2015_International_Graduate_Admissions%20Survey_FINAL.pdf>からダウンロード可能。

Council of Graduate Schools, U.S. Master's Degrees a Major Draw for International Graduate Students
<http://cgsnet.org/us-master%E2%80%99s-degrees-major-draw-international-graduate-students>